

StudyInteract Program 説明書

1. プログラムの目的、ねらい

日本の国際化の必要性が叫ばれて久しいですが、未だに実態としてはグローバル人材が不足しています。留学人数こそ増えましたが、全体の3分の2が1か月未満ということで、その実態は「語学研修」です。

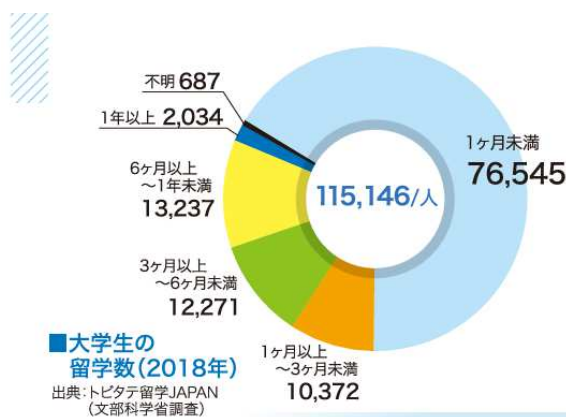


図1 留学の現状

グローバルで働けるには英語の研修だけでなく、

1. 英語をツールとして使える、学べる。
2. 日本人だけでないチームでリサーチ、共同作業できる。
3. 母国語、カルチャー、バックグラウンドの違う外国人と協力して何かを仕上げる。

経験が重要ですが、よその国から留学生が来る欧米とは違って、日本では残念ながらこのような機会はほとんどありません。

本プログラムの目的は、日本にいながら上記の環境を提供することです。

2. 主要対象となるお客様

主要対象となるお客様は、

- グローバルに展開する企業での就職を目指す学生さん
- 将来の海外長期留学を真剣に考えている学生のさん

となります。

グローバル企業への就職にあたり、海外語学研修は就職面接でのアピールではもはや真新しさはありません。企業は「英語で何ができるか？」を期待しているわけで、そこで具体的な経験や学んだことを披露できることが求められますが、本プログラムに真剣に取り組むことで「具体的な」経験を披露することができます。

3. ご提供するプログラム

提供させていただくプログラムは

- 4週間レギュラーコース（42時間、オリエンテーション含む）
- 2週間短期コース（22時間、オリエンテーション含む）

時間はプログラム自体の履修時間と日本人学生向けのオリエンテーション（プログラム説明、その他）の合計です。

4. プログラム構成

標準4週間コースのプログラム構成は下記に示したようになります。授業時間はオリエンテーションを含めてトータル42時間です。

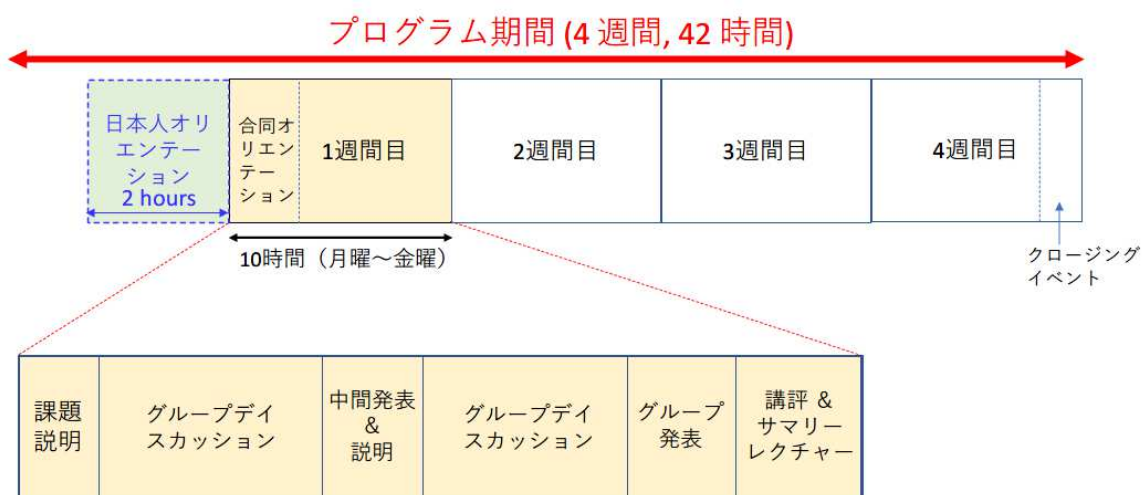


図2 4週間レギュラーコーススケジュール

上図の通り、一つのコースで4つのトピックスを扱うことを想定しております。コース終了後に2単位の Credit が Malnad College より授与される予定です。

2週間短期コースは、2トピックスを扱います。授業時間はオリエンテーション含めてトータル22時間です。コース終了後に1単位の Credit が Malnad College より授与されます。

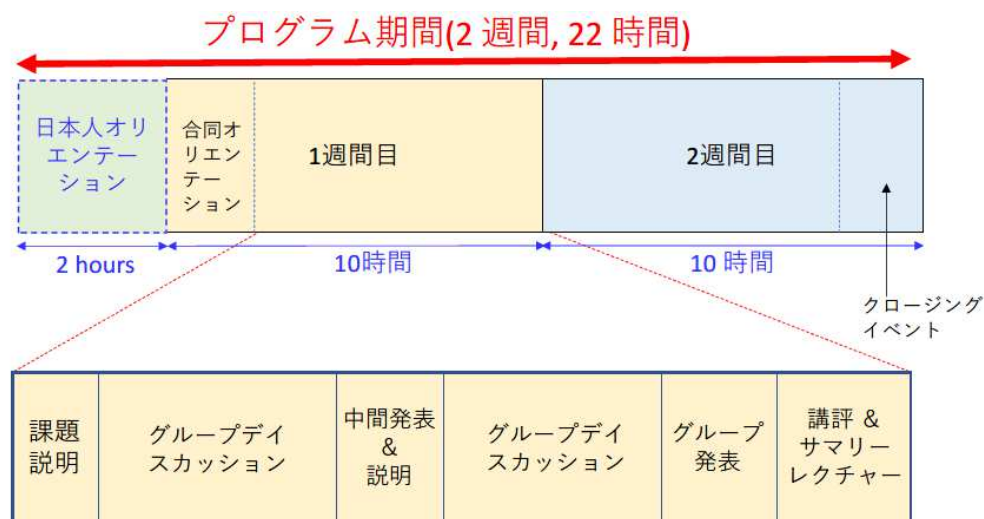


図3 2週間短期コーススケジュール

5. 実施時期、時間帯、定員

現在予定している開催時期は下記の通りです。最低実施人数は日本側5人です。**※提携先大学の参加人数で実施できない場合があります。(20日以上前に告知)**

(1) 4週間レギュラーコース

2021年3月1日～3月26日 (3月11日が祝日のため13日に振り替えとなります。)

(2) 2週間短期コース

第1回：2021年3月1日～3月13日 (3月11日が祝日のため13日に振り替え)

第2回：2021年3月15日～3月26日

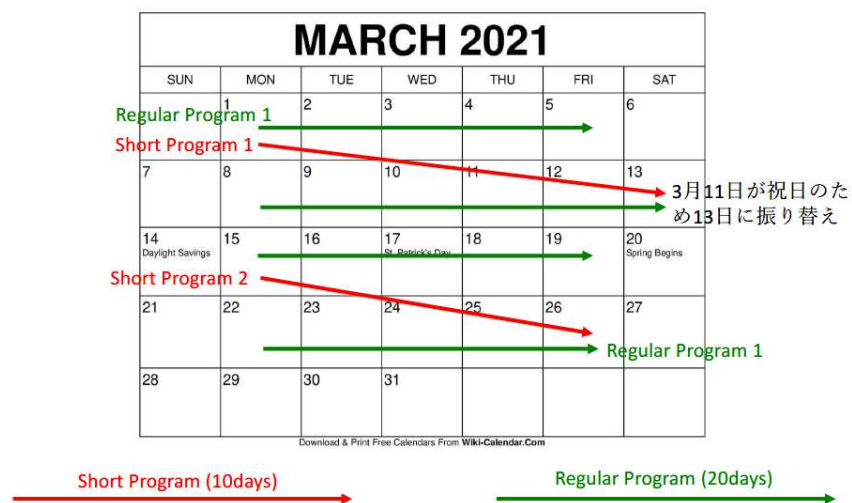


図4 実施スケジュール

(3) お申込期限

- ~~3月1日開始分につきましては2月8日。~~
- ~~3月15日開始分につきましては2月22日~~
- ~~料金のお支払いでお申し込みとさせていただきます~~

法政大学の学生向けに別途申込期限を設定しています。

グローバル教育センターウェブサイトを確認してください。

(4) 授業時間：時間帯は日本時間の 10:30～12:30 で予定しています。

(5) 最低実施人数：最低実施人数は5名です。（但し貴学だけの人数ではありません。）

6. 研究テーマ、内容

基本、どの学部学生さんも参加できるようにトピックスは専門知識が無くても参加できる一般のトピックスを扱います。

テーマ選定には下記の項目を重視しています。

- 基礎的ながら本質的な内容 (Basic but fundamental)
- 知的サプライズがあること (英会話プログラムではありません)
- 仮定の取り方で結論が変わる内容 (予めストーリーが簡単に読めるテーマは避ける。)
- 十分な情報がインターネット上であること
- 政治的 (国内外)、宗教的、生活習慣等センシティブなテーマは取り扱わない

7. プログラムの進め方

プログラムでは、まず最初にオリエンテーション（日本人のみ、日本人+インド人）それからプログラムに入ります。



①プロジェクトは提携先大学のコースの一部です。



②提携先の大学の教授（講師）がプロジェクトを指導します。



③提携先と日本の学生は4人程度のチームを作ります。



④各チームでプロジェクトやリサーチに共同で取り組みます。



⑤各チームの成果を最後にプレゼンテーション、レポートにします。



⑥コース終了後に終了証を交付します

図5 プログラムの進め方

本プログラムでは、上図5にあるように

1. 学生さん4～6人（日本人、インド人各2～3人）で一つのグループを編成します。
2. プログラムを指導する提携先大学の先生が課題を説明します。
3. 各グループに分かれてオンラインリサーチ、グループディスカッション、中間報告、プレゼン資料作成します。
4. 各グループでプレゼンテーションします。
5. 先生が講評と講義を行います。
6. プログラム終了後に Malnad College が修了証（Certificate）を発行します。（1週間トリアルコースは対象外）

8. 本プログラムの狙いと扱う内容

(1) 本プログラムの狙い

日本人は Discussion に参加できないと言われてますが、そもそも Discussion できるようになるまでに下記の3つのステージがあります。

ステージ1：簡単な自己表現ができる。単純な質問に答えられる。（英会話初級卒業レベル）

ステージ2：準備したことには自分の意見を言える。答えことができる。

ステージ3：相手の言ったことに臨機応変に答えてディスカッションできる。

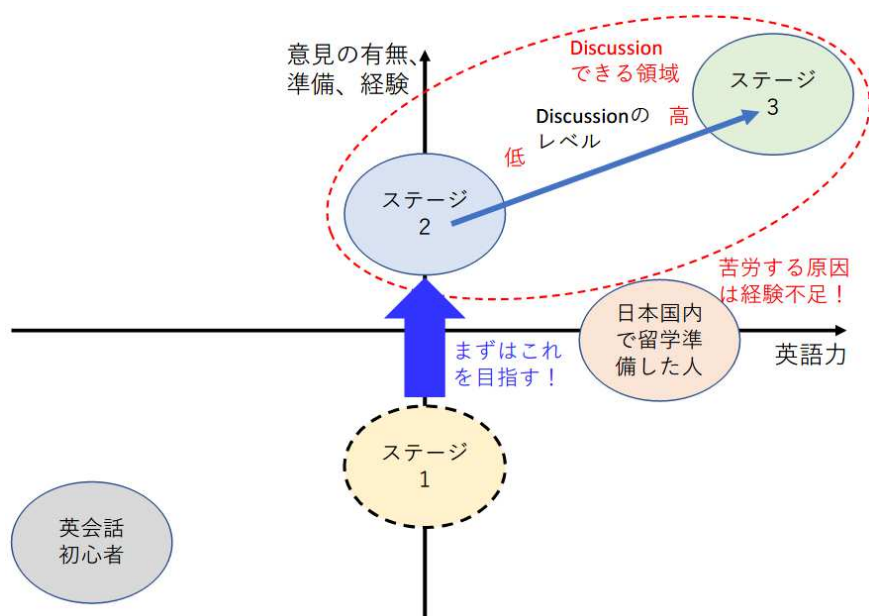


図6 学生さんレベルとターゲット

まずステージ1ですが、これは英会話初級レベルを卒業した人でとりあえずは自己紹介できる。聞かれた単純な質問（趣味等）には答えられるレベルです。TOEICで550点程度の学生さんです。

ステージ2は、具体的に準備したこと、経験したことに事前準備することで意見を披露できる。プレゼンテーションできるレベルです。ここに至らないほとんど（つまりステージ1止まり）の人は、そもそも英会話で短時間の1対1応答の経験はあっても、それ以上の経験が無い人です。つまり英語力の問題よりも「実践経験のないこと」ことが原因です。

ステージ3は英語でDiscussionできるレベルですが、このレベルに至るには現地に留学しても6カ月～1年かかるのが実態です。やはり原因は場慣れしていないこと。話す内容を瞬時に頭の中でまとめられないと言う要因もあります。（実際、時間をかければペーパーは書けます。）本プログラムでも長期間取り組んでいただければこのステージに近づけます。

本プログラムでは、まずはステージ1の人に場慣れしてもらうことに主眼をおき、ステージ2への橋渡しをします。既にステージ2の人がステージ3への訓練をできることは言うまでもありません。

（2）プログラムで扱う内容

下記にプログラムで扱う内容の例を挙げています。

#	Topics	Subject
1	Is India coming back as a World superpower ?	Economics
2	What does Big Mac price tell?	Economics
3	Is printing money a solution?	Economics
4	Is your salary increasing?	Economics + General
5	Can we project our future with population?	Economics + General
6	High Speed Rail vs. Airplane	General
7	Is your common sense correct?"	Science
8	What are electric vehicles?	Engineering
9	What are challenges of electric vehicles promotion?	General
10	Manufacturing in Japanese style	Engineering

表1 プログラムで扱う内容

(3) 学生さんの到達点

今回のプログラムでは、まずはステージ1の学生さんが、ステージ2の「自分の準備した意見を話す。そういう機会に場慣れする」ことができるように仕組んであります。既にステージ2にほぼ達している学生さんには英会話教室では扱わないようなテーマで実戦経験を多くつめます。この場面では依然ステージ1の学生さんには多少の困難があるかもしれませんが、これはたいていの日本人留学生も経験することで、ある意味「困難」を体験すること自体に意味があります。但し、その困難はE S L教師を配置することでかなり緩和されるはずですが、

ですので「困難はつきものだから放っておく」と言うことはしませんが、ある程度の困難をあえて経験していただくのもこのプログラムの大きな目的です。そのかわりそれを克服された学生さんは確実に一皮むけますし、実際に留学する時の心理的なバリアは大きく下がります。企業に就職して海外とオンラインミーティングとなっても臆することはないはずですが、事前準備と役割分担でメンバーの一員としてクラス参加を経験していただければ、自信につながるはずですが、

9. 提携先の大学 (Malnad College of Engineering) について、なぜインドの大学か？

提携先の大学の Malnad College of Engineering はインドのシリコンバレーとして名高いバンガロールから車で約3時間ほどの Hassan にある私立大学。過去に One of the best engineering colleges にも選ばれています。

下記ご参照ください。

<https://www.mcehassan.ac.in/>

https://en.wikipedia.org/wiki/Malnad_College_of_Engineering

Malnad College of Engineering (MCE) is an engineering college located in Hassan, Karnataka, India. It was established in 1960, during the second 5 year plan of India, as a joint venture between the Government of India, Government of Karnataka and the Malnad Technical Education Society, Hassan. The institution is affiliated with the Visvesvaraya Technological University in Belgaum.

The college is built on a campus of about 44 acres (180,000 m2) and is a technical education center. The college has got the ISTE Award as one of the best engineering colleges in the country, in 2007.



(なぜインドの大学か?)

英語力のところで述べたように、日本人の現実として英会話に困難が付きまとうのは避けられません。欧米の大学の Native はそんな日本人に付き合ってくれませんが、あえてそれに付き合ってくれるのがインドの大学です。インドからは多くの学生が海外に留学しますが、インドには先進国から留学生はあまり来ないので、先進国日本からの学生は歓迎されます。インド英語には多少なまりはあるものの (Bangalore は少ないです。) 基本的に英語に流暢なので、日本人にとっては Native と会話できます。現地に渡航するのとは違い、安全、衛生面の懸念は無用です。何よりも英語 Native と交流できるのは学生さんにはメリットです。

10. プログラムの価格

(1) 希望小売価格

- 4週間標準コース：希望小売価格 16万8000円
- 2週間短期コース：希望小売価格 8万9800円

(2) お申し込み時期

- ~~4週間標準コースにつきましては2月8日。~~
- ~~3月1日開始2週間短期コースにつきましては2月8日。~~
- ~~3月15日開始2週間短期コースにつきましては2月22日となります。~~

~~料金のお支払いでお申し込みとさせていただきます。~~

~~お申し込みは、株式会社JTB-仙台支店の鎌田様迄。~~

~~TEL: 022-263-6726 E-mail: k_kamata344@jtb.com~~

法政大学の学生向けに別途申込期限・申込方法を設定しています。

グローバル教育センターウェブサイトを確認してください。